

インフラマネジメントの生産性・効率性向上を図る データプラットフォーム構築等の推進

平成29年3月6日
環境省

インフラマネジメントの生産性・効率性の向上について

⇒廃棄物処理施設の長寿命化に向けた技術的支援

所管分野における情報の電子化、データプラットフォームについて

⇒一般廃棄物処理事業等実態調査におけるデータの
収集・公表・活用

廃棄物処理施設におけるインフラマネジメントの 生産性・効率性の向上のための技術的支援

効率的な施設整備や保安全管理を充実することを通じて、廃棄物処理施設の長寿命化を図り、そのライフサイクルコストを低減する「ストックマネジメント」を効率的に実施する手引きとして、「**廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き**」等を取りまとめ、自治体等に対して周知するなど、技術的支援を実施。

(支援策の具体的内容)

➤ 自治体等が廃棄物処理施設を含む「公共施設等総合管理計画(行動計画)」や、廃棄物処理施設毎の「個別施設計画」を策定するに当たり、以下のとおり、技術的支援を実施。

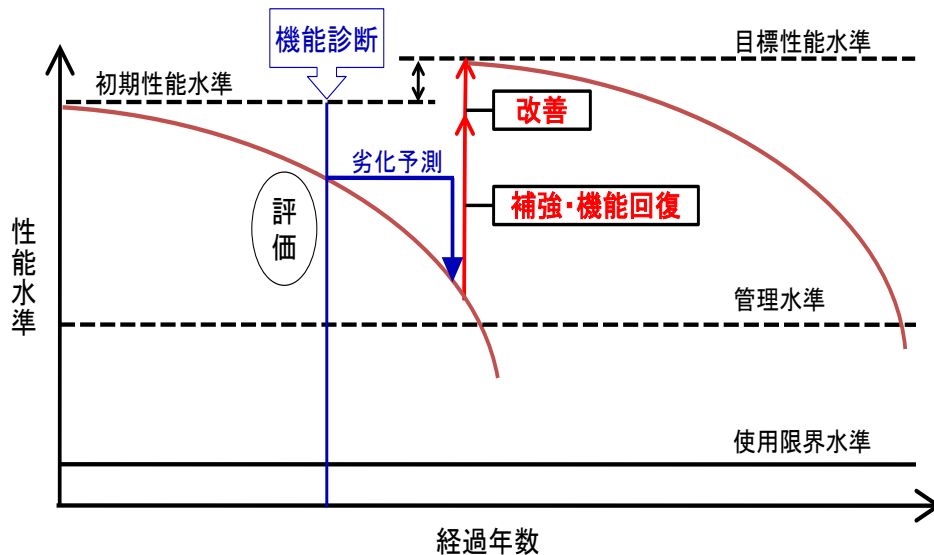
○ **「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き」**を平成22年3月に策定(平成27年3月に改訂)し、自治体に周知

⇒ストックマネジメントの考え方にに基づき、地域単位での広域的な観点も考慮しつつ、自治体等が処理施設の長寿命化計画を作成する際の手引き。

○ **「廃棄物処理施設の「行動計画(案)」及び「個別施設計画の様式(案)」**を平成27年7月に策定し、自治体に周知

⇒自治体による行動計画及び個別施設計画策定の参考となるよう、環境省全体の行動計画に先立ち、廃棄物処理施設に特化して案を策定。

(施設長寿命化のイメージ)



➤ 環境省では、廃棄物処理施設も含めた環境省全体の「**インフラ長寿命化計画(行動計画)**」を平成28年3月に策定。

廃棄物処理施設に関するデータの収集・公表

【一般廃棄物処理事業等実態調査】

- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、国は、市町村等の責務である一般廃棄物の処理に関して、「廃棄物に関する情報の収集、整理及び活用並びに技術的支援に努めること」とされている。
- 環境省では、昭和47年から、「一般廃棄物処理事業実態調査」を年に一度実施し、各市町村等における1年間のごみ処理状況や整備状況等について把握し、オープン化している。

(データの利用に関する支援)

- 一般廃棄物処理事業実態調査の結果は、市町村等において統計処理のデータとして活用できるよう毎年Excelの形式でも公開。
- また、「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針」において、市町村自身が自らの一般廃棄物処理システムについて環境負荷面、経済面等から客観的な評価を行い、地域特性を踏まえて、地域の住民や事業者に対して明確に説明できるよう評価の考え方を提示。

